

令和5年6月28日 提出

請願・陳情文書表

陳情第49号

新型コロナウイルスワクチン接種後被害調査および松江市  
独自の対策を求める陳情

1 要 旨 国内において新型コロナウイルス感染症が確認されてから 3 年が経過したが、いまだに新規感染者は増加しており昨冬の第 8 波において報告された死亡者数は過去最大となった。国民のほとんどが 4 回も 5 回もワクチンを打っているのになぜ感染が収まらないのか。

松江市では現在 6 回目のワクチン接種の案内が来ている。政府は当初、新型コロナウイルス感染症の感染予防には mRNA ワクチン(以下「ワクチン」という)が有効であり、ワクチンを 2 回接種すれば抗体ができ、感染予防効果が高まることでコロナパンデミックが収束すると発表していた。しかしながら専門家の中では、ワクチン接種することで自然免疫が低下し、その結果としてワクチンを打てば打つほど感染爆発している、との警鐘が鳴らされている。その証拠にワクチン接種を取りやめた国々では、既にコロナパンデミックは収束している。

一方、ワクチン接種後の深刻な副反応事例や死亡事例は増え続けている。2023 年 1 月 20 日発表の厚労省のホームページを見ると、ワクチン接種後の死亡者数は 2,003 人、重篤患者は 2 万 6,363 人となっている。また、ワクチン健康被害認定者数は 2023 年 4 月 7 日までで受理数が 7,111 人、認定者数が 2,188 人、うち死亡者の認定数は 41 人となっている。

(厚生労働省疾病・障害認定審査会の資料より)

以上のように当初より松江市が積極的に接種を推奨していた理由とも言うべき感染予防効果などの広報内容と乖離した実態が松江市にも多く発生している。(注：製薬会社が当初より現在まで日本において二重盲検試験などの治験を十分に行なっていない本ワクチンは効果・安全性において通常の承認制度では認可がおりない特例承認の医薬品である)

(裏面あり)

